

東証スタンダード市場・福証
証券コード：6998

日本タングステングループ 2024中期経営計画

(2021~2024年度)

2023年5月19日 更新



2024中期経営計画 1st Stage

- 振り返り

2024中期経営計画 2nd Stage

- 基本戦略
- 重点戦略 1 既存事業の価値最大化
- 重点戦略 2 成長戦略（成長事業の実現）
- 重点戦略 3 新商品・新規事業創出の加速
- サステナビリティ経営の推進
- 計数目標



2024中期経営計画 1st Stage (2021~2022年度)

- 振り返り

2024中期経営計画 基本戦略（策定時）

中期経営計画の課題

- ① 収益構造の改善および事業構造の再構築
- ② 外部環境変化に適応した戦略マネジメント
- ③ 開発・新規事業創出のスループット向上

当社を取り巻く事業環境

- ・パンデミックの再発リスク
- ・2023年度にコロナ禍前へ回復予測
- ・市場構造の急速な変化

2024中期経営計画 基本戦略

1st Stage (2021~2022年度) ～ 成長に向けた基盤強化 ～

1 利益体質強化

突発的な環境変化でも安定した利益を創出する体質へ変革

2nd Stage (2023~2024年度) ～ 100周年に向けた成長の開始 ～

既存事業の価値最大化

事業ポートフォリオ再編による事業価値最大化

2 成長戦略（成長事業の実現）

ポートフォリオを再編し、利益創出事業で得たリソースを成長期待事業へ集中し成長していく

3 新商品・新規事業創出の加速

情報と仮説に基づいた開発とフレキシブルな開発体制で開発を加速

収益改善事業

利益創出事業

成長期待事業

新商品開発

1 利益体質強化

- 新型コロナウイルス感染症禍からの景気回復が進んでいるものの、ロシア・ウクライナ情勢の長期化による資源・原材料価格の高騰等に対し、滞留在庫の圧縮や、利益体質改善に向けた取り組みが増収増益に寄与。
- ROIC管理を導入し、医療照明事業再編に伴い増加した在庫に対し、適正在庫管理の強化を実施。

2 成長戦略（成長事業の実現）

機械部品事業

- 自動車部品市場向け二軸押出機用部材MAZELLOY®を開発、企業から採用（市場への提供）が始まる。
- 衛生用品市場向けNTダイカッター®用新材料を開発。大人用おむつ市場向けの新規開発カッターユニットを提供開始。

電機部品事業

- EVリレー用接点や電装部品溶接用の抵抗溶接用電極など自動車部品市場に注力。EVリレー用接点などが大きく伸長。
- ITER（イーター）計画を始めとする核融合実験炉に対し関連部品が採用され、市場へ提供。

3 新商品・新規事業創出の加速

- 殺菌用深紫外LED関連製品、半導体製造装置関連部材など新商品開発を継続。
- 持続可能な社会に貢献する新商品開発に着手。

2024中期経営計画 1st Stage実績

新型コロナウイルス感染症による業績悪化から概ね回復。
2024年中計最終年度の目標達成に向け、順調に推移。

	2020年度 実績	1 st Stage			2024年中計 最終年度目標
		2021年度 実績	2022年度 予想※	2022年度 実績	
売上高	98.9億円	120.3億円	122億円	126.5億円	130億円
営業利益	2.7億円	9.1億円	7.6億円	9.3億円	10億円
営業利益率	2.8%	7.6%	6.2%	7.3%	8%
ROE	△0.6%	8.4%	5.8%	7.0%	8%
研究開発費	2.6億円	3.1億円	-	3.3億円	14億円/4年 (3.5億円/年)
設備投資額	3.2億円	2.6億円	-	6.1億円	32億円/4年 (8億円/年)
株主還元 (1株当たり配当金)	40円	120円	80円	120円	120円

※2022年5月20日予想

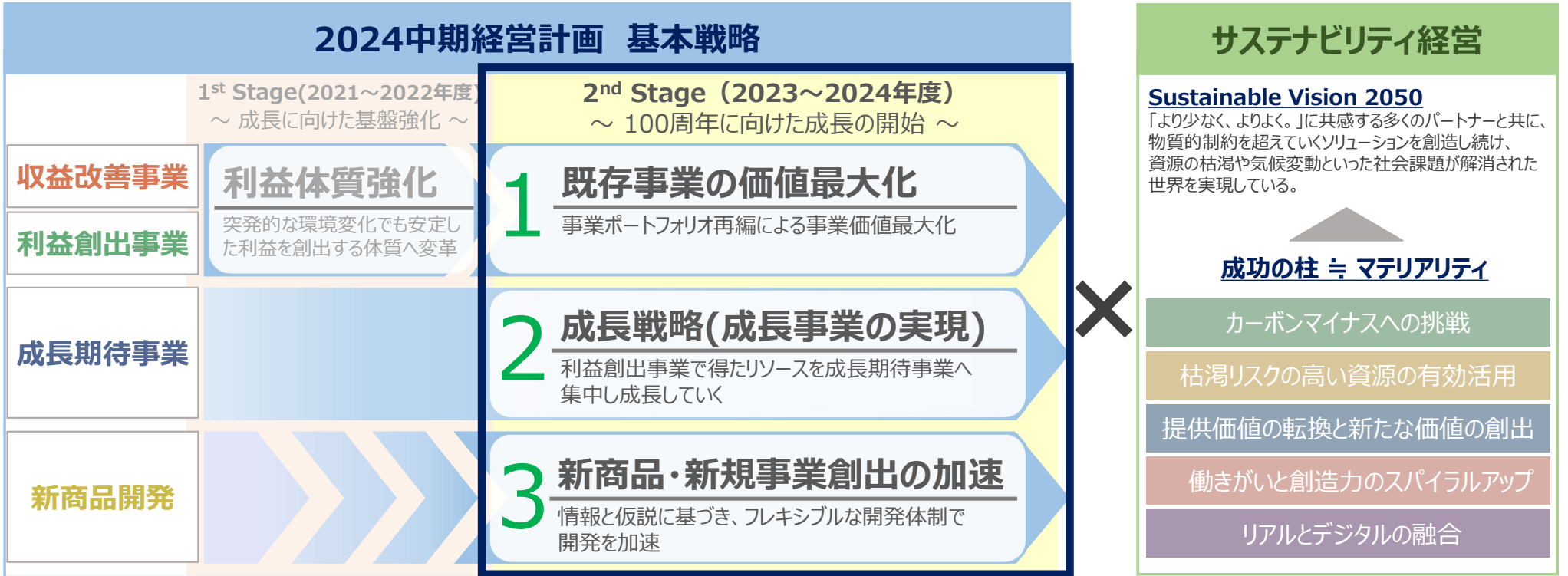


2024中期経営計画 2nd Stage (2023~2024年度)

- 基本戦略

2024中期経営計画 2nd Stage基本戦略

サステナビリティ経営を中期経営計画に実装し、サステイナブルビジョン2050の実現を目指す。



サステナビリティ経営の実装・実践

- サステナビリティ経営委員会の発足、全社連携で施策推進
- パーパス・ビジョンの浸透、働きがいのある職場づくり

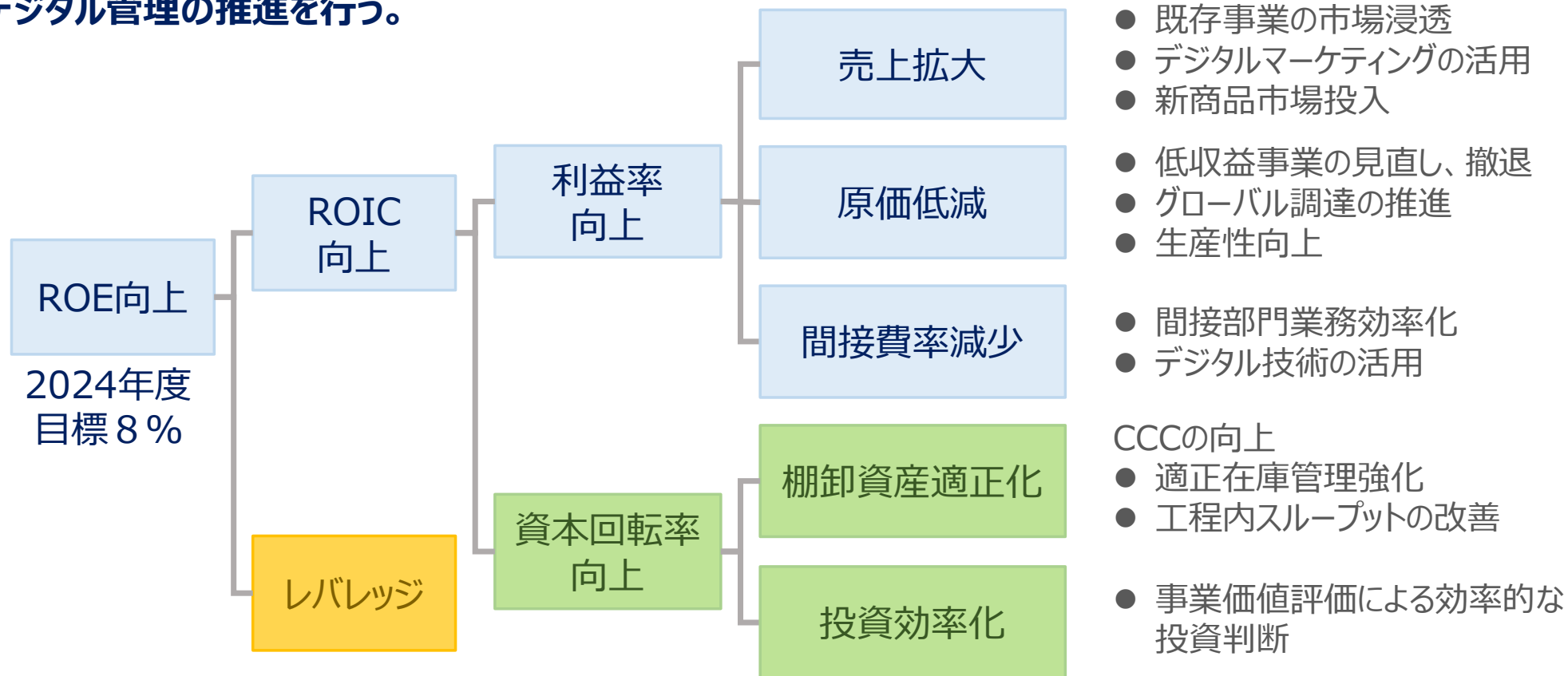
2024中期経営計画 2nd Stage (2023~2024年度)

- 重点戦略 **1** 既存事業の価値最大化

2024中期経営計画 2nd Stage 1 既存事業の価値最大化 10

収益改善事業の取捨選択や、高収益事業の利益体質強化により、事業ポートフォリオを再編し、事業価値を最大限に高める。

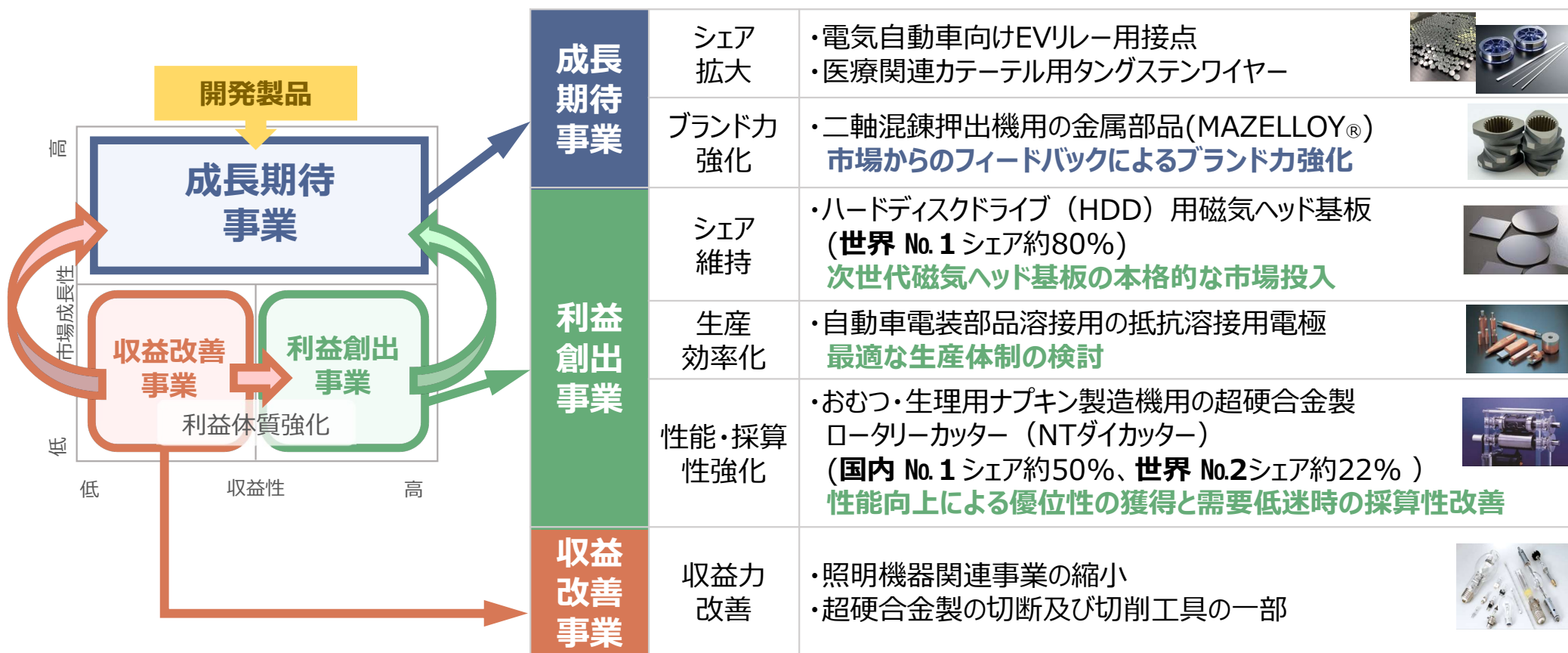
1st Stageから継続して、生産性効率化を目的とした抜本的な工程の配置等の見直し。工程におけるデジタル管理の推進を行う。



2024中期経営計画 2nd Stage (2023~2024年度)

- 重点戦略 2 成長戦略 (成長事業の実現)

ポートフォリオを再編し、利益創出事業で得たリソースを成長期待事業へ集中し成長していく



5つのターゲット市場にコア技術を生かした製品群を投入。

ターゲット市場	事業セグメント別の注力製品	
	機械部品事業	電機部品事業
半導体・電子部品市場	 <p>ハードディスクドライブ(HDD)用磁気ヘッド基板 世界 No. 1 シェア(当社調べ)</p>	 <p>プラズマ電極</p>
自動車部品市場	 <p>二軸押出機用部材 (コンパウンド混錬機用) 新商品</p>	 <p>EVリレー用接点</p>  <p>抵抗溶接用電極 (電装部品溶接用)</p>
産業用機器・部品市場 インフラ市場	 <p>産業用設備向け耐摩耗部材 液晶塗付用超硬長尺製品</p>	 <p>ブレーカー用電気接点</p>
衛生用品機器・医療用部品市場	 <p>N Tダイカッター 国内 No. 1 シェア(当社調べ) 世界 No. 2 シェア(当社調べ)</p>	 <p>医療関連カテーテル用 タングステンワイヤー製品</p>

【自動車部品市場】

二軸混錬押出機用部材 MAZELLOY®



- 二軸混錬押出機は2本のスクリーを用いてコンパウンドを行うための装置。自動車部品をはじめとする各種用途のコンパウンド製造のため、世界各国で活用されている。
- EV化により、自動車ボディの軽量化が進むことから、機能性コンパウンド市場は2017年から2023年にかけて2.5%のCAGRで成長が予測され、その後も順調に伸びていく見込み。
- 二軸混錬押出機用部材“MAZELLOY®”として、「MZ01」(2020年9月)を市場に投入。さらに新商品「MZ II」を開発(2022年12月)。



コストダウン
(部材の交換頻度削減)

製造物の品質向上
腐食・摩耗に強く
摩耗成分の混入最小化

管理工数削減
(多用途の生産に対応)



2022年“超”モノづくり部品大賞
(主催：モノづくり日本会議/日刊工業新聞社)
「日本力（にっぽんぶらんど）賞」を受賞

2022年12月1日付日刊工業新聞「MZ II 開発」記事掲載。
当社HPよりリンク
「https://www.nittan.co.jp/topics/topics_page_1_586.html」



MAZELLOY開発チームが
第9回ものづくり日本大賞「優秀賞」を受賞
(主催：経済産業省ほか)

当社HPよりリンク
「https://www.nittan.co.jp/topics/topics_page_1_594.html」

持続可能な社会への貢献

- ✓ 車の軽量化に貢献 … 脱炭素
- ✓ 耐久性向上 … 廃棄物削減 (資源の有効活用)

【衛生用品機器・医療用部品市場】 超合金製ダイカッター

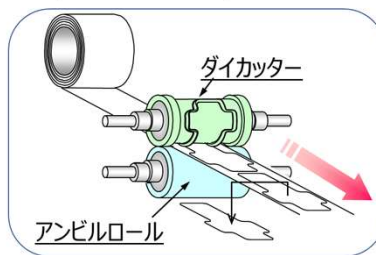
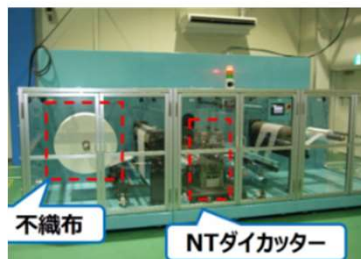


- 少子化に伴い、子供おむつ市場、生理用ナプキン市場は成熟期にある。
- 高齢化に伴い、大人用おむつ市場は今後も高い成長率が見込まれる。
- 当社のNTダイカッター®は1986年、世界で初めて実用化された高性能超合金製ロータリーカッターで、不織布・紙・ポリマー・金属箔などの高速輪郭加工が可能。
- 国内 No.1 (シェア約50%)、世界 No.2 (シェア約22%) 【当社調べ】

NTダイカッター®



衛生用品製造機のイメージ(当社テストライン)



持続可能な社会への貢献

- ✓ 衛生用品の普及に貢献 … 世界の人々の健康と福祉
- ✓ 耐久性向上 … 廃棄物削減 (資源の有効活用)

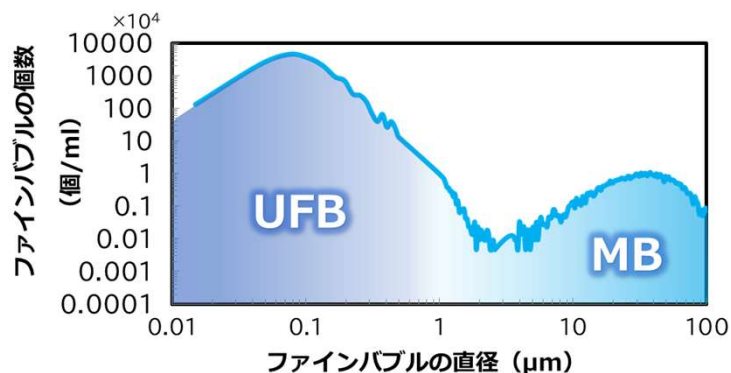
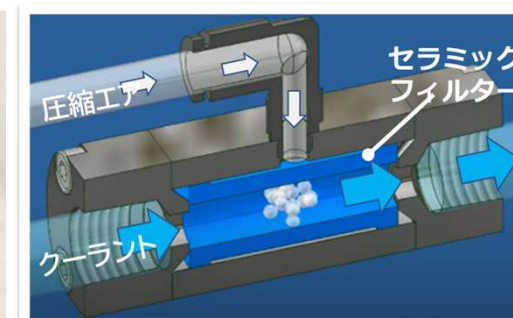
【産業用機器・部品市場】

研削加工用ファインバブル生成器



- ウルトラファインバブル（UFB）とマイクロバブル（MB）を含んだ研削液による研削加工は、被削材にかかる負荷を小さくでき、工具の目詰まりを抑制する効果が期待できる。
- 当社オリジナルの微細多孔質を生かした、広い流量適用と豊富なバブル発生量が特徴。1億個/mlのUFBと100万個/mlのMBを生成。
- 従来より切り込み量を増やした条件でも品質を損なわずに長時間連続で加工でき、研削加工の能率を大幅に向上できる。

研削加工用ファインバブル生成器
FB-ASSIST Pシリーズ



持続可能な社会への貢献

- ✓ 切り込み量UP … 働く人の手間を削減、エネルギー削減
- ✓ 砥石メンテナンス間隔延長 … メンテナンス時の砥石消耗減（廃棄物削減）

※「ファインバブル」、「ウルトラファインバブル」、「FINE BUBBLE」は一般社団法人ファインバブル産業会の登録商標です。

【産業用機器・部品市場】 超硬長尺製品

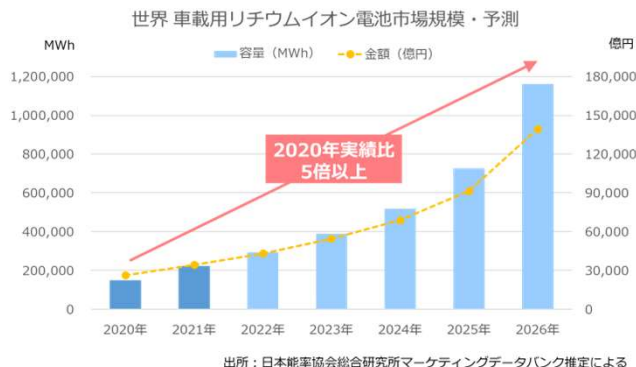


● 2次電池や液晶パネルの高機能フィルム製造に不可欠な当社の超硬長尺製品

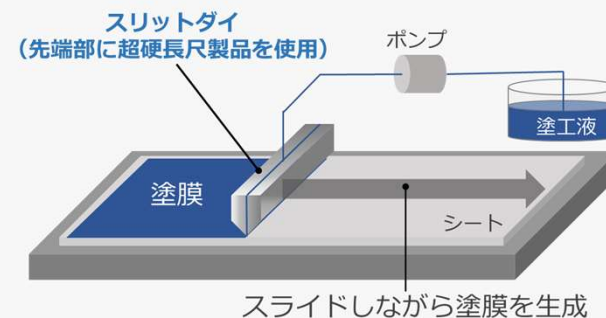
2次電池や液晶パネルディスプレイに不可欠な高機能フィルムは、大型化と更なる高機能化が求められ、高機能フィルム製造装置の大型化、高機能化、稼働率向上に対応した当社の超硬長尺製品の需要は堅調。

● リチウムイオン2次電池市場の動向

リチウムイオン2次電池は、エネルギー密度が高く、小型化や高出力化に対応できる電池として、ニッケル水素電池や鉛蓄電池などから需要がシフト。また、EV需要の高まりとともに、世界のリチウムイオン2次電池市場は2020年実績から2026年には5倍以上と力強い成長を遂げると予想される。



超硬長尺製品による塗膜生成のしくみ



持続可能な社会への貢献

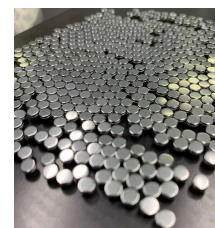
- ✓ 製造工程の生産性向上 … 働く人の手間を削減
- ✓ 間接的効果 … 脱炭素、デジタル技術の普及に寄与

【自動車部品市場】 EVリレー用接点

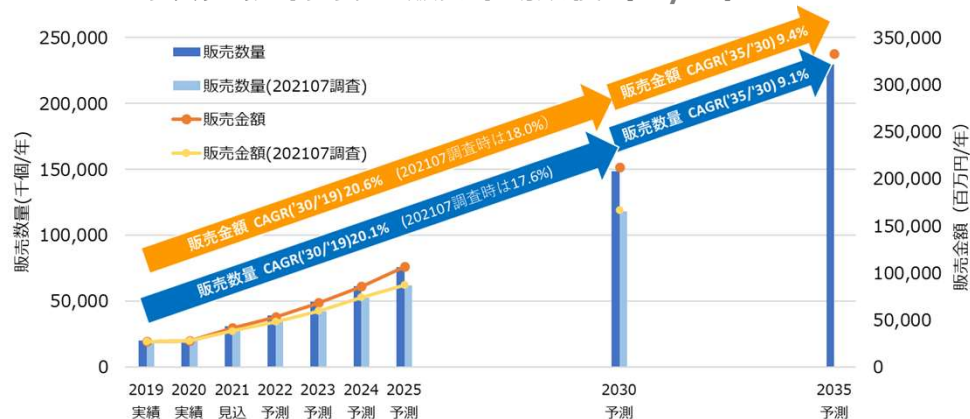


- EV車1台にEVリレーは3～4個搭載される。当社製品（EVリレー用接点）はEVリレーに搭載され、事故などの緊急時にバッテリー、モーターの電流を瞬時に完全に遮断する重要な役割を持つ。
- 世界のEV市場の急成長とともに、EVに搭載されるシステムメインリレー市場は2030年にかけて約20%のCAGRで成長が予測され、今後大きく拡大していく見込み。

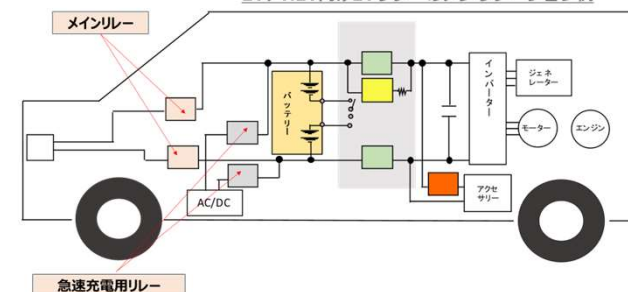
EVリレー用接点



システムメインリレー販売市場規模（W/W）



EV、HEV向けEVリレーのアプリケーション例



持続可能な社会への貢献

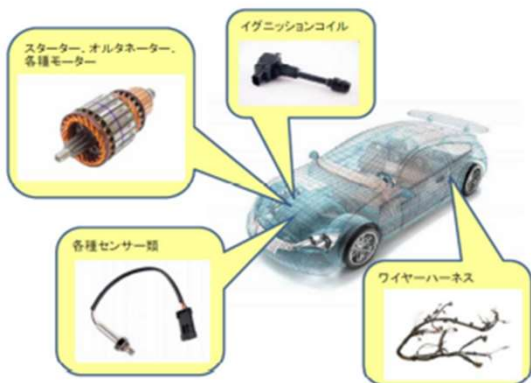
- ✓ EV車の普及に貢献 ... 脱炭素

【自動車部品市場】

電装部品溶接用の抵抗溶接用電極



- 当社の抵抗溶接用電極は、主に銅材料の溶接に使用され、ワイヤーハーネスやモーターといった自動車製造に欠かせない電装部品の溶接用の電極として使用されている。
- 自動車の様々な機能は電装部品によって実現され進化。
- 2030年には2018年実績比で、当社製品の主要用途であるワイヤーハーネスの需要は1.4倍、駆動用モーターの需要は7倍になると予測され、順調に伸びていく見込み。

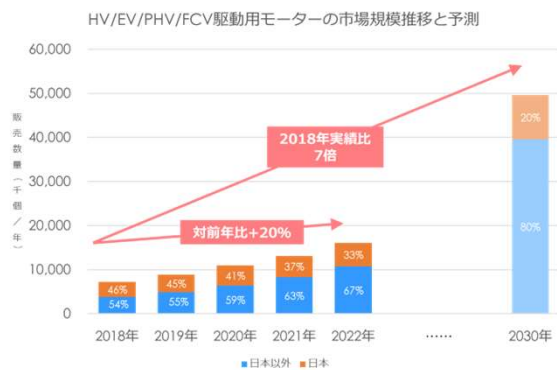
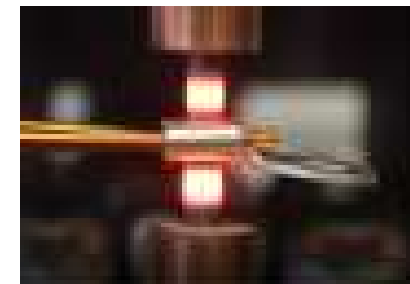


電装部品の接合工程で使用
長寿命化・生産効率向上

抵抗溶接用電極



電装部品のヒュージング工程



(注) %の数字は全体に占める日本、日本以外市場それぞれの割合 (SVPジャパン「車載ワイヤーハーネス市場調査」をもとに作成)

持続可能な社会への貢献

- ✓ EV車の普及に貢献 …… 脱炭素
- ✓ 消耗量の減少 …… 資源の有効活用
- ✓ 交換インターバルの延長 …… 働く人の手間を削減

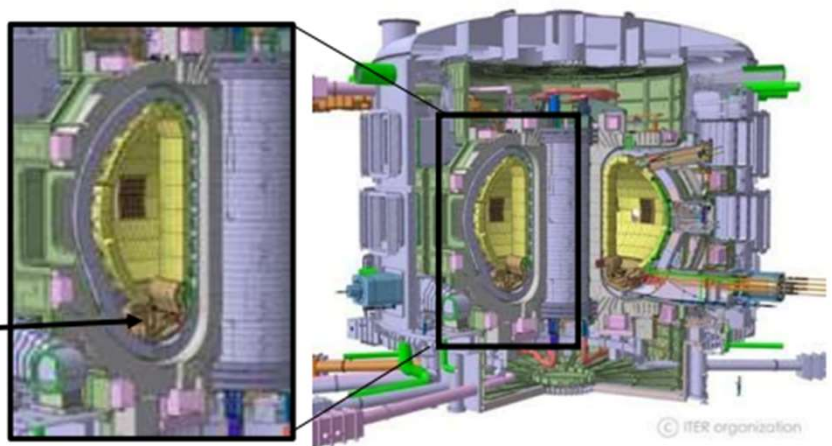
【産業用機器・部品市場、インフラ市場】 核融合実験炉向け部品



- 核融合反応を利用した「核融合エネルギー」は、地球温暖化の原因となる二酸化炭素を排出しない、エネルギー問題と環境問題を根本的に解決する恒久的なエネルギーとして注目。
- ITER計画とは核融合実験炉イーター(以下、ITER) の建設・運転を通じて、核融合エネルギーの科学的・技術的実現性の確立を目指すもの（日本・欧州（E U）・米国・ロシア・韓国・中国・インドの7極による国際協力により推進中）。
- ITER本体の構成部品の製作における接合に、当社の NDB（Non-Defective Bonding）技術が採用（2019年4月）。

(図1) ITER 本体

ダイバータ
-内側ターゲット：欧州
-外側ターゲット：日本
-ドーム：ロシア



持続可能な社会への貢献

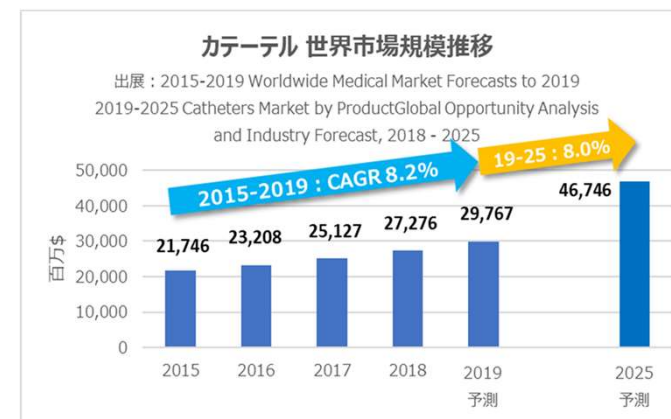
- ✓ 核融合発電の実現 …… 脱炭素
- ✓ 消耗量の減少 …… 資源の有効活用

【衛生用品機器・医療用部品市場】

カテーテル用タングステンワイヤー・リボン



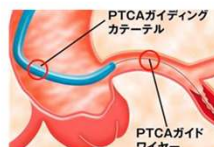
- 高密度・高比重のタングステンワイヤー・リボンは放射線の遮蔽力が高いことから、カテーテル線の内部に使用することにより、X線で撮影した画像が鮮明となる（X線の照射量を減らすことができるため患者の身体的負担軽減に貢献）
- 毛髪よりも細く加工することが可能なためカテーテル線の細線化にも貢献。
- 世界のカテーテル市場は、2030年に向け順調に伸びていく見込み。



タングステンワイヤー



タングステンリボン



* タングステンは鉄の2.5倍の重さがあり、その特徴で、同じ条件下でX線を照射したモニターでは2.5倍クリアに見えます。
* X線照射量を減らすことで、体の負担が軽減されます。

持続可能な社会への貢献

- ✓ 低侵襲医療の普及に貢献
… 世界の人々の健康と福祉

2024中期経営計画 2nd Stage (2023~2024年度)

- 重点戦略 3 新商品・新規事業創出の加速

長年のものづくりで培った知見及び技術や、ターゲット市場における、ものづくりのトレンド等の情報収集力を高め、より高度な商品開発とその加速化を図る。

注力中の開発商品

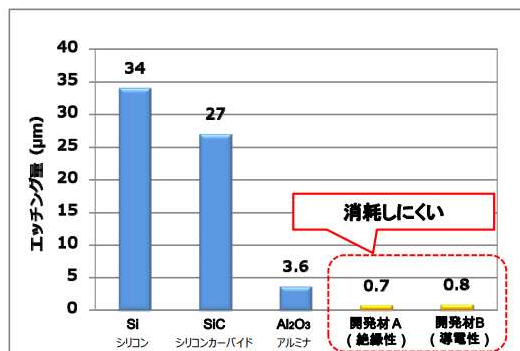
【半導体・電子部品市場】
半導体製造装置関連部材



- 耐プラズマ素材の知見を活かした新素材開発。
- 『半導体製造工程の生産性向上』を目的とし、材料の先に存在するソリューションで半導体業界に寄与。



開発したセラミックスのプラズマ耐性



【衛生用品機器・医療用部品市場】
深紫外LED関連製品



- 理化学研究所との共同研究により開発した人体無害波長とされる230nm LED。これを用いて除菌関連市場への参入を目指す。
- 材料設計技術を活かした新素材により深紫外LEDの性能UPに寄与。

Under Development 波長230nm帯LED

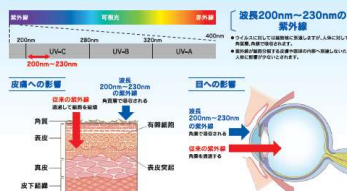
人体無害で光による除菌が可能なLEDを開発

● 国立研究開発法人 理化学研究所 平山量子光電子研究室と共同で開発
● 従来の殺菌用光源である波長 205nm~285nmより人体への影響が少なく、ウイルスの不活化効果をもつ波長230nm帯のLEDを開発



開発中のLEDパネル。2024年度サンプル出荷を目指し開発中です。

● 波長230nm帯の紫外線とは？



2024中期経営計画 2nd Stage (2023~2024年度)

- サステナビリティ経営の推進

サステイナブルビジョン策定に当り、パーパスを決定。

より少なく、よりよく。

BUILDING A BETTER WORLD FROM LESS.

これまで。

社会の声にストックであり続けた。

より少なく、よりよく。

それは、社会に対するわたしたちの解誓。歩み。哲学。

そして、マテリアルを追求してきたことの証。

これから。

わたしたちが耳を傾けるもの。それは未来の声だ。

人々の困りごとに。大量消費のない社会に。限りある時間に、資源に。

何より、希望へとつながる明日に。

点と点、人と人をつなげ、たくさんの声に応えてゆこう。

新しい思考を取り込みながら。想像力を創造力へ。

すべての人がワクワクするような未来へ。

できるはずだ。ずっとそうしてきたのだから。

これからも、きっと。

変化とともに在ろう。

今よりもっと、より少なく、よりよく。

 日本タングステン株式会社

パーパス特設ページへのリンク：<https://www.nittan.co.jp/purpose/>

「サステナビリティ経営基本計画」を策定。サステナビリティ経営委員会（2023年5月設置）が中心となり、全社横断的な活動を推進し、環境課題・社会課題への対応や社会貢献活動に取り組む。

Sustainable Vision 2050

「より少なく、よりよく。」に共感する多くのパートナーと共に、物質的制約を超えていくソリューションを創造し続け、資源の枯渇や気候変動といった社会課題が解消された世界を実現している。

サステナビリティ経営のHPへのリンク：<https://www.nittan.co.jp/sustainability/>

サステイナブルビジョン達成のための“成功の柱”

Sustainable Vision 2050

「より少なく、よりよく。」に共感する多くのパートナーと共に、物質的制約を超えていくソリューションを創造し続け、資源の枯渇や気候変動といった社会課題が解消された世界を実現している。

サステイナブルビジョンを達成するための
“成功の柱” ≡ マテリアリティ

カーボンマイナスへの挑戦

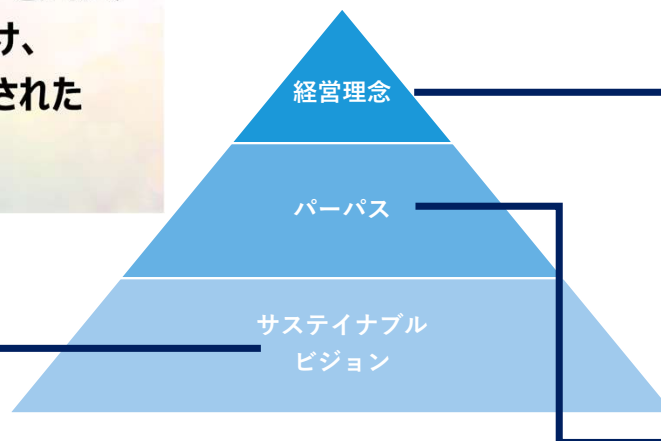
枯渇リスクの高い資源の有効活用

提供価値の転換と新たな価値の創出

働きがいと創造力のスパイラルアップ

リアルとデジタルの融合

中期経営計画の一環として取組み開始



経営理念

企業理念 Our Corporate Philosophy

日本タングステンは、世界の人々と従業員の明るい未来を実現するために
- マテリアルからはじまる価値創造に挑戦し続けます。
- 常にNo.1を目指し、かけがえない存在であり続けます。

行動規範 Our Way

- ・私たちは、情熱を持って、失敗を恐れずチャレンジします。
- ・私たちは、当事者意識を持って、すぐ行動しやり遂げます。
- ・私たちは、相手の立場になって、期待以上で応えます。

より少なく、よりよく。
BUILDING A BETTER WORLD FROM LESS.

	成功の柱	2050年の目指す姿	関連するSDGs
CN	カーボンマイナスへの挑戦	実質カーボンマイナスを達成します。	13 気候変動に具体的な対策を
CE	枯渇リスクの高い資源の有効活用	枯渇リスクの高い資源の最終廃棄をゼロにします。	12 つくる責任 つかう責任
CV	提供価値の転換と新たな価値の創出	消費される資源あたりの価値を大きく飛躍させるとともに、省エネ、省資源、脱炭素などの社会課題解決につながるソリューションの提供を中核事業とします。	17 パートナシップで目標を達成しよう 12 つくる責任 つかう責任
CW	働きがいと創造力のスパイラルアップ	多様な価値観を持った人々が、働きがいを感じ、積極的に力を合わせて価値創造に挑戦する企業文化を醸成します。	8 働きがいも経済成長も 4 質の高い教育をみんなに 5 ジェンダー平等を実現しよう
CX	リアルとデジタルの融合	データ活用とデジタル技術を基盤とし、価値創造サイクルを迅速に回して提供価値を高めます。	9 産業と技術革新の基盤をつくろう

持続可能な社会に貢献する商品の展開

持続可能な社会に貢献する商品（例）

機械部品事業

【自動車部品市場】

二軸混錬押出機用部材 MAZELLOY®



- ✓ 車の軽量化に貢献
- ✓ 耐久性向上
- … 脱炭素
- … 廃棄物削減（資源の有効活用）

【衛生用品機器・医療用部品市場】

超硬合金製ダイカッター



- ✓ 衛生用品の普及に貢献
- ✓ 耐久性向上
- … 世界の人々の健康と福祉
- … 廃棄物削減（資源の有効活用）

【産業用機器・部品市場】

研削加工用ファインバブル生成器



- ✓ 切込み量UP
- ✓ 砥石メンテナンス間隔延長
- … 働く人の手間を削減、エネルギー削減
- … メンテナンス時の砥石消耗減（廃棄物削減）

【産業用機器・部品市場】

超硬長尺製品



- ✓ 製造工程の生産性向上
- ✓ 間接的効果
- … 働く人の手間を削減
- … 脱炭素、デジタル技術の深耕に寄与

電機部品事業

【自動車部品市場】

EVリレー用接点



- ✓ EV車の普及に貢献
- … 脱炭素

【自動車部品市場】

電装部品溶接用の抵抗溶接電極



- ✓ EV車の普及に貢献
- ✓ 消耗量の減少
- ✓ 交換インターバルの延長
- … 脱炭素
- … 資源の有効活用
- … 働く人の手間を削減

【産業用機器・部品市場】

核融合実験炉向け部品



- ✓ 核融合発電の実現
- ✓ 消耗量の減少
- … 脱炭素
- … 資源の有効活用

【衛生用品機器・医療用部品市場】

カテーテル用タングステンワイヤー・リボン



- ✓ 低侵襲医療の普及に貢献
- … 世界の人々の健康と福祉

直接的、間接的に関わらず、持続可能な社会に貢献する商品を開発し、提供していく。



2024中期経営計画 2nd Stage (2023~2024年度)

■ 計数目標

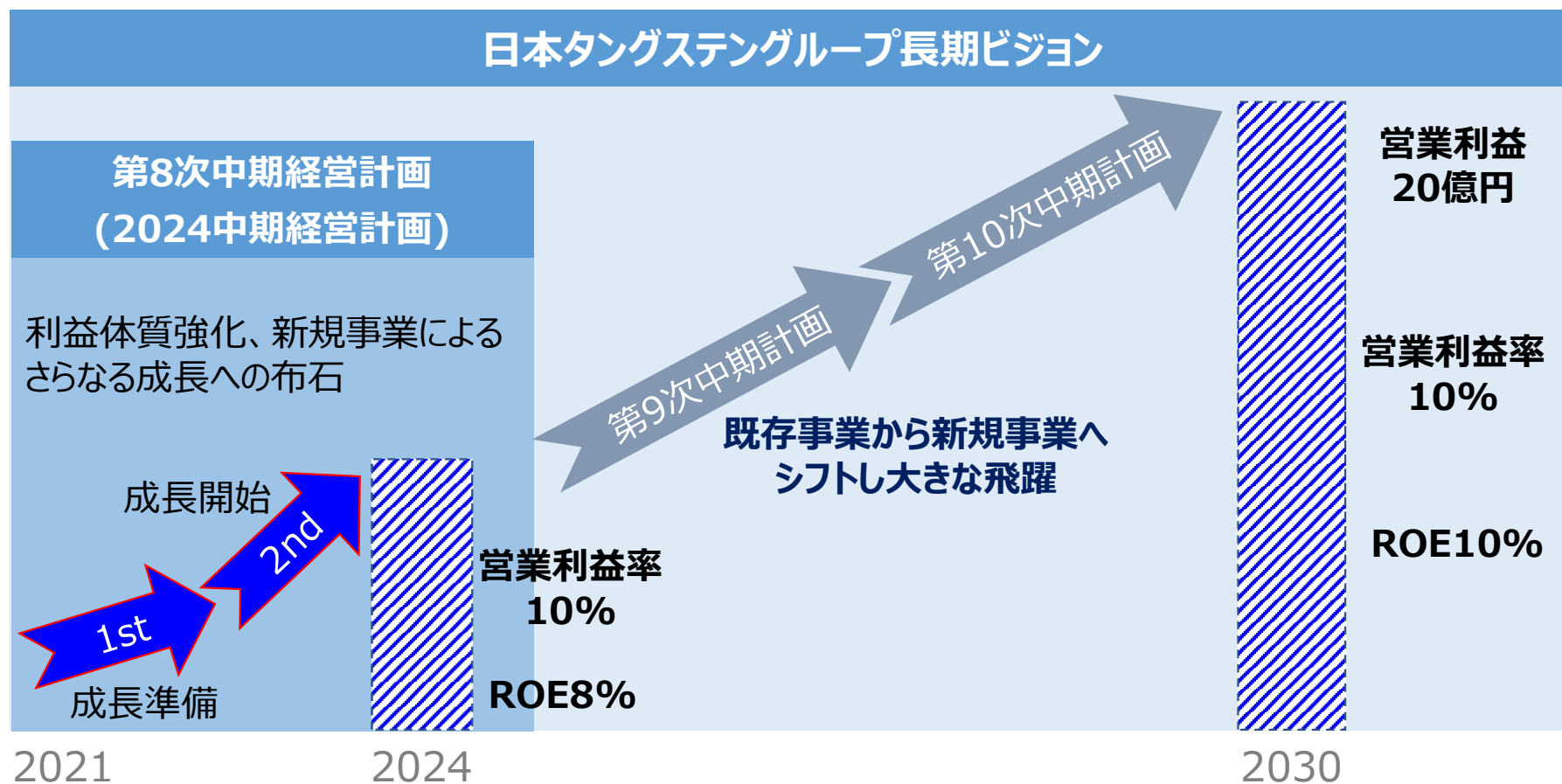
2024中期経営計画 2nd Stage計数目標

2023年度は市場環境の不透明感から停滞する見込みだが、成長期待事業に注力し、2024年中計最終年度の目標達成を目指す。

	2020年度 実績	1 st Stage		2 nd Stage	
		2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度 予想	2024年中計 最終年度目標
売上高	98.9億円	120.3億円	126.5億円	120億円	130億円
営業利益	2.7億円	9.1億円	9.3億円	6.2億円	10億円
営業利益率	2.8%	7.6%	7.3%	5.2%	8%
ROE	△0.6%	8.4%	7.0%	4.9%	8%
研究開発費	2.6億円	3.1億円	3.3億円	3.2億円	14億円/4年 (3.5億円/年)
設備投資額	3.2億円	2.6億円	6.1億円	15.6億円	32億円/4年 (8億円/年)
株主還元 (1株当たり配当金)	40円	120円	120円	100円	120円

創立100周年(2031年)に向けた成長戦略

2024中期経営計画は持続的成長に向け、収益構造の転換と新商品の創出に取り組む。
創立100周年を見据え、2030年度は営業利益20億円営業利益率10%以上を目指す。



本資料は情報提供を目的とするものであり、当社株式の購入や売却を勧誘するものではありません。

また、掲載されている情報は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が独自に予測したものであり、リスクや不確定な要素を含んでおります。

従いまして、見通しの達成を保証するものではありません。当社の内部要因や当社を取り巻く事業環境の変化等の外部要因が直接または間接的に当社の業績に影響を与え、本資料に記載した見通しが変わる可能性があることをご承知おきください。

投資に関する最終的な決定は、利用者ご自身の判断でなさるようお願いいたします。